

慢性痛
急性痛

香曾我部義則先生の今月のカルテ

vol.110

ペインクリニックの現場から

梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生と藤井洋泉先生が、痛みの治療や緩和についての情報を届けてくれる「ペインクリニックの現場から」。今号から香曾我部先生が、骨粗鬆（しよう）症について話をしてくれま



■プロフィール こうそがべ・よしのり
昭和54年に岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長に。平成16年から現職。日本麻酔学会指導医。日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属

現在日本は、「超高齢 心臓病などが挙げられま 化社会」を迎え、総人口 す。また、糖尿病、高血 に占める23%以上の約3 圧症、脂質異常（メタボ 000万人が65歳以上と リックシンドローム）は、 言われています。

要介護や要支援の原因 動脈硬化と関連し、脳血 管性認知症の発症原因と 折・転倒10%、脊髄（せ になっていくことはよく知 きすい）損傷2%と運動 症、骨折・転倒、関節疾患、 られています。

同時に運動器の障害は めています。

強い腰痛を訴えて来院 部骨折、上腕骨近位部骨 折、骨盤骨折、下腿骨折、 助骨（ろっこつ）骨折があ ります。特に大腿骨近位 部骨折は、移動能力や生 活機能を低下させるだけ 防に努めましょう。

日常生活動作の低下を招 折の危険性が大きくなるこ と、腰椎がつぶれおり（椎 骨粗鬆症は、低骨量と 骨組織の微細構造の異常 が特徴で、骨の脆弱（ぜ せ）性が増し、骨 折の危険性が増大する疾 患です。転倒する、尻も

骨粗鬆症患者は、1300万人を超え、さらに 00万人を超え、さらに 増えています。問題点 は、日常生活の中での骨 折の危険性が高くなるこ とです。高齢者で発生頻 度が多い骨折は、椎体骨 折、大腿（たい）骨近位 部骨折、腕（うで）骨遠位 部骨折、上腕骨近位部骨 折、骨盤骨折、下腿骨折、 助骨（ろっこつ）骨折があ ります。特に大腿骨近位 部骨折は、移動能力や生 活機能を低下させるだけ 防に努めましょう。

骨折の危険性が増す疾患、骨粗鬆症患者は1300万人以上 骨密度を上げるだけでなく、疾患への理解を深め、骨折予防を

お答えは、梶木病院（北 区西花尻）の香曾我部先 生です。☎086（29 3）33355代